

令和3年（2021年）度
第23回定時総会議案書

日時：5月26日（水）11：00

場所：NCB会館 花の間
（大阪市北区中之島6丁目2-27）



一般社団法人
大阪アドバタイジング エージェンシーズ協会
Osaka Advertising Agencies Association

第23回 定時総会 順序

日 時 2021年 5 月 26日 (水) 午前11時～

場 所 大阪市北区中之島6丁目2-27
中之島センタービル内 NCB会館3階 花の間

1. 開 会 専務理事 森本 晃史
 1. 挨拶 理事長 岩井 秀一
 1. 議 案 ①2020年度事業報告・収支決算報告の件
②2021年度事業計画(案)・収支予算(案)の件
③2021年度活動方針スローガン(案)の件
④2021年度補欠役員改選の件
⑤名誉会員推薦の件
 1. 閉 会 専務理事 森本 晃史
-

以 上

2020年度 事業報告

1. 概況

新型コロナウイルスに翻弄された世界・日本経済。

広告費はリーマンショック以来11年ぶりに2桁減少となった。

2020年は2月後半から新型コロナの影響による停滞が始まり、3月の感染拡大と4月の緊急事態宣言発出以降に日本経済は大きく減速した。内閣府によると4-6月のGDP成長率は前期比8.3%減、年率換算では29.3%減と一時はリーマンショック時を凌ぐ落ち込みを記録した。その後、政府自治体による経済・感染症対策により回復のきざしも見せはじめたが通年においては、同成長率は4.8%減となり9年ぶりのマイナス成長となっている。前年には最高額を記録したインバウンド消費がほぼ消滅し、外出自粛により、飲食・レジャー、交通関連分野で、大きなダメージが出ており、2021年に入っても同じ状態が続いている。

一方で、外出自粛によるいわゆる「巣ごもり需要」により、新たな生活様式に伴うさまざまなサービスが生まれ、フードデリバリー、ネット通販、オンライン会議やオンラインセミナーが一般化して、コロナ禍前より注目されていたDX(デジタルトランスフォーメーション)が一気に加速することとなった。

広告においては、「2020年(令和3年)日本の広告費」(電通)によると、総広告費は6兆1594億円(前年比88.8%)。DXによってインターネット広告費の回復が顕著で、通年でプラス成長となるも、「東京2020オリンピック・パラリンピック」をはじめ各種イベント・展示会・販促キャンペーンの延期や中止により、プロモーションメディア広告費が大幅に減少し、それに付随するマスコミ四媒体広告費も大幅減となったため、全体で前年を大きく割り込むこととなった。

第1号議案

大阪市場の2020年暦年ベースにおいても全国と同様に4-6月期を底として、回復途上であり、近畿経済産業局の1年間の振り返りによると、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだものの、社会経済活動の再開に伴い、生産や個人消費では一部に持ち直しの動きがみられることから、基調判断は「厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる」とされている。ただし、個人消費のうち、百貨店・スーパー販売額をみると、新型コロナの影響により大きく落ち込み、減少幅は全国に比べて大きく、他地域よりもインバウンド減少の影響が大きいことが見て取れる。

また、2021年になっても再度緊急事態宣言が出され、なかなか先の見通せない状況が続いている。

このような環境下において、当協会の2020年度は、新入社員教育講座をはじめとするリアルセミナーや会食懇親会等の各種事業が中止・見送りとなった。ただし、年度後半になると、リモート開催の環境が整ってきたため、人権セミナーをウェビナーにて開催。他の広告業界団体が行う無料セミナーも案内できる機会が増え、情報入手という点では、多分に補うことができた。また顕彰活動においては、新型コロナが若干落ち着いた時期に、コピーコンテスト、コピーフェアを感染対策しながら実施。完全にオンライン対応となっている第3回OSAKA未来プレゼン大賞は予定通りに実施、4作品の贈賞を決定した。

また次年度のセミナー実施に向けて、リモートの委員会会議にて企画立案作業をすすめ、昨年度見送りになった「新入社員教育講座」は新年度早々、リモートで再開するまでに到っている。

2.事業の実施報告

I 広告・コミュニケーションに関する一般教養の向上に資する事業

(1) 第3回 OSAKA 未来プレゼン大賞 募集および選考

昨年度に続き、3回目となる OSAKA 未来プレゼン大賞の募集を開始。7月10日に特設サイトを開設し、WEBによる募集を行った。今回の課題は、「大阪を世界一、安心安全な都市にするためのアイデア」。今年度の応募件数は、新型コロナ対応で学校の授業カリキュラムが混乱したことの影響もあり、高校生からの応募が大幅に減少。40作品の応募に止まった。10月末日に締め切り、実行委員会による選考が行われ、以下の金賞・銀賞・銅賞・高校生以下部門学生奨励賞の選出が行われた。

金賞（賞状と副賞30万円）

『Osaka Paint For Never プロジェクト』

電通パブリックリレーションズ

せき つかさ かわい けい
関 司氏, 川合 慶氏

銀賞（賞状と副賞20万円）

みんなを笑顔に繋げるタイガーマスクカメラ

電通テック

ふくはら たかし
福原 雄志氏

銅賞（賞状と副賞10万円）

【セキュとく！】大阪人のお得魂に響く防犯

電通テック

えぐち ももな
江口 桃魚氏

第1号議案

高校生以下部門学生奨励賞(賞状と副賞10万円)

TORERUNKAI (とれるんかい！)

大阪府立和泉高等学校 / MONEY\$MAKER

峯 那律輝氏, 氏部 舜斗氏, 加藤 一平氏, 三浦 ちひろ氏

(以上)

II 広告・コミュニケーションに関する次世代の育成に資する事業

(1) 第52次新入社員教育講座 中止(新型コロナウイルス対策)

日時：令和2年4月6日(月)・7日(火)・8日(水)

会場：大広12階会議室

受講料：18,000円(非会員社30,000円)

受講者： —

<講義科目と講師>

<敬称略>

第1日		
開講の言葉	理事長	岩井 秀一
注意事項と講座概要	専務理事	森本 晃史
広告会社の営業活動	博報堂 第3ビジネスデザイン局	幸地 友哉
テレビ広告	電通 メディアビジネス局	笠 直介
新聞広告	博報堂 DY メディアパートナーズ 新聞部	宇井 将人
ラジオ広告	博報堂 DY メディアパートナーズ ラジオ部	榭谷 昌義
雑誌広告	ADKマーケティングソリューションズ メディアビジネスセンター第3ビジネス本部	糸平 博
第2日		
インターネット広告(メディア編)	デジタル・アトミック・タインク・コンソーシアム	岸本 和英
インターネット広告(マーケティング編)	博報堂 DY メディアパートナーズ 統合アカウ ントプロデュース局	野村 彩季
マーケティング	大広 顧客価値開発本部	布施 陽介
クリエイティブ	博報堂 クリエイティブ・ソリューション局	川村 健士
プロモーション	大広 WEDO 大阪クリエイティブ局 Division	原 孝幸

第1号議案

第3日		
交通・屋外広告	ジェイアール西日本コミュニケーションズ 交通メディア本部	山本 純司
広告業務と人権	電通 法務マネジメント局 関西法務部	西谷 則昭
広報・PR	電通 リューション・デザイン局	佐々木 俊幸
広告業務と法規	電通 法務マネジメント局 関西法務部	増田 剛
折込広告	朝日オリコミ大阪 営業本部	佐々木 宏志

講師の皆様には、途中まで講義準備をしていただき、誠に有難うございました。

Ⅲ 広告・コミュニケーションに関する情報・資料の収集及び情報の提供・公開に関する事業

(1) 広告図書寄贈事業

大阪府立中央図書館（東大阪市）、大阪府立中之島図書館（大阪市北区）に日本広告業協会発行の「広告ビジネス入門」「新聞広告料金表」「放送広告料金表」「JAAA レポート」「OAAA 報」を寄贈。

(2) 広報活動・情報提供の強化（ホームページの充実）

協会の目的（定款）、倫理綱領、活動、会員構成、協会報の記事等の、ホームページの内容強化。CMS による逐次更新の実施。

(3) 「第6回 字幕付きCMセミナー」

日時：令和2年10月13日（火）14:00～15:30

会場：オンライン配信（YouTube Live）

参加料：無料

主催：字幕付きCM普及推進協議会（略称「字幕CM協議会」）

〔構成団体〕公益社団法人日本アドバイザーズ協会

一般社団法人日本民間放送連盟

一般社団法人日本広告業協会

第1号議案

(4) 「アドバタイジング・ウィーク 2020 アジア」 (協賛)

日 時：令和2年10月14日(水)～15日(木)

会 場：オンライン配信

参加料：IDパス400名分 無料提供

主 催：アドバタイジング・ウィーク

(5) JAAA セミナー「ラジオCMオンライン運用説明会」

日 時：令和2年11月5日(木) 15:00～16:00

会 場：オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

参加料：無料 先着500名

主 催：一般社団法人日本広告業協会 ラジオ委員会

IV 広告倫理の向上に必要な事業

(1) 広告関連法務研修会 (主催は公益社団法人日本広告審査機構) (協力)

令和2年度は、新型コロナ対策として、リアルセミナーは見送り。
東京から配信するウェビナーを日本広告審査機構単体事業として開催。

日 時：令和2年12月23日(水) 15:00～16:30

会 場：オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

テーマ・講師：第1部 「広告担当者のための景品表示法の基礎」

吉田 巖 氏 (公益社団法人日本広告審査機構 審査部課長)

第2部 「広告担当者のための知的財産権の基礎」

平野 尚志 氏 (株式会社博報堂 法務室 弁護士)

参加料：3,000円

協 力：公益社団法人日本アドバイザーズ協会、公益社団法人大阪広告協会、
一般社団法人日本広告業協会、一般社団法人大阪アドバタイジング・エー
ジェンシーズ協会、一般社団法人日本アド・コンテンツ制作社連盟、公益
社団法人日本広告制作協会、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会、

参加者：468名

第1号議案

(2) 第10回OAAA人権セミナー

日時：令和2年12月3日（木）13：30～15：00

会場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

テーマ：「ゆがむメディアと人権

～IT革命の進化とフェイク情報の視点で～」

講師：北口末広（きたぐちすえひろ）氏（近畿大学人権問題研究所主任教授）

参加料：無料

登録者：70名

V 広告技術の改善・向上に資する事業

(1) 第24回OAAA夏期広告セミナー

中止（新型コロナ感染対策）

令和2年度は、コロナ感染の緊急事態宣言が為されたため、委員会を開催することができず、企画・開催を見送り。

(2) 第3回マーケティングセミナー

令和2年度は、令和3年になってよりコロナ感染の再拡大により、緊急事態宣言が長期間発令されたため、開催企画検討を見送り。

来期よりは定例開催ができるように企画運営方法を見直し、「夏期広告セミナー」を継承して実施していくこととなった。

(3) 第50回求人案内広告コピーコンテスト

求人広告を中心に扱われる広告会社の営業の方々を対象にした事業。

前年8月1日より7月31日の一年間を対象に、朝日、毎日、日経、産経、読賣の各紙に掲載された求人案内広告62点（A部門7点、B部門55点、）のエントリーがあり、審査を行なった。

審査会は、新聞5社懇話会10名の審査員により9月24日（木）14：00より朝日新聞社大阪本社社内会議室において行われた。表彰式は、10月28日（水）16：00～17：00に朝日新聞社大阪本社社内会議室にて開催した。

第1号議案

幹事社：朝日新聞社

参加者：受賞者、各新聞社、案内広告委員長他 21名参加

<各部門の入賞者>

<敬称略>

A部門		B部門	
最優秀作		最優秀作	
読売エージェンシー大阪	吉田 みどり	読売エージェンシー大阪	藤田 智也
優秀作		優秀作	
サンエーディー	中道 大介	大阪朝日広告社	竹田 晃樹
		読売エージェンシー大阪	佐々木 悠介
佳作		佳作	
読売エージェンシー大阪	塩井 啓子	内藤一水社大阪支社	下原 広之
読売エージェンシー大阪	谷本 茉優	読売エージェンシー大阪	塩井 啓子
		読売エージェンシー大阪	目澤 亜津古

(4) 第23回スポーツ新聞求人案内広告コピーフェア

日刊スポーツ、サンケイスポーツ、スポーツニッポン、デイリースポーツ、スポーツ報知の5紙に前年10月1日から9月30日までに掲載された求人広告を対象とするコピー制作力のコンテスト。

応募は、スポーツ新聞を中心に扱われる広告会社の営業の方々を対象にしている。

総数で65点（A部門35点、B部門30点）の応募があった。

10月21日（水）に大広12階会議室にて審査会を、11月11日（水）に大阪大学中之島センター507号室にて表彰式を行った。

幹事社：デイリースポーツ

参加者：受賞者、各新聞社、案内広告委員他 17名参加

<各部門の入賞者>

<敬称略>

	A部門(15行以内)		B部門(16行以上)	
最優秀作	宣成社	馬場 弥永子	宣成社	馬場 弥永子
優秀作	宣成社	相浦 憲子	宣成社	高月 麻里子

第1号議案

佳 作	現代広告社	中森 恒平	宣成社	棚田 綾子
	スポニチパートナー	牟田 博彦	宣成社	寺西 淑実
	宣成社	寺西 淑実	宣成社	米田 佳代
	宣成社	米田 佳代	読売エージェンシー大阪	吉田 みどり

(5) 第40回OAAAクリエイティブ研究会

令和2年度は、新型コロナ対策として、リアルセミナーは見送り。
東京から配信するウェビナー特別企画が、日本広告業協会の主催による単独事業として開催されることとなり、その案内を会員社に供することのみ行った。

(6) 第60回ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 入賞作品発表会 (協賛見送り)

令和2年度の入賞作品発表会は、新型コロナ対策のため中止。
(代わりとなるオンラインイベントを東京・渋谷ヒカリエより無料配信)

(7) HaHaHa OSAKA CREATIVITY AWARDS 2020 審査会 (協賛)

日 時：令和3年2月9日(火) 17:00～19:30
会 場：オンライン生配信中継
参加料：無料
参加者：804名視聴
(公社)大阪広告協会主催事業に協賛

(8) 第16回交通・屋外広告セミナー 中止

令和2年度は、新型コロナ収束時に前年度開催予定していたセミナーを行う予定であったが、年間通して収束の見込みがないため、開催を見送り。

VI 関係機関・内外諸団体との連絡、連携、協調

(1) 広告関係団体との連携

全国広告業団体連絡会議（議長：東京／J A A A）（5、10月書面開催）、大阪広告6団体事務局長連絡会（4、6、8、10、12、2月開催）と連携し、広告界を取り巻く諸問題について検討。

(2) 広告図書の販売

『広告ビジネス入門』、『新聞広告料金表』、『放送広告料金表』『個人情報保護ハンドブック』『広告会社キャスティング業務ハンドブック』『広告会社のための下請法』を、会員社に販売した。

(3) その他

- ・ J A A Aが入手する、官公庁はじめ各種団体からの諸連絡・諸情報の拡散配信
- ・ 大阪府商工労働部、大阪産業経済リサーチセンターとの情報交換
- ・ 人権活動等に関する、大阪府府民文化部からの情報共有・配信
- ・ 大阪不動産マーケティング協議会の、人権・同和問題への啓発活動を後援

VII その他、法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会報（OAAA報）の発行

第136号（7月1日）第137号（1月10日）を発行した。

いずれもタブロイド変形版、発行部数は第136号が450部、第137号が500部。会員はじめ関係団体（大阪府、全国の広告業協会他）、大学、専門学校などに送付した。

(2) 第55回大阪マスコミ年賀交歓会 中止（新型コロナ感染対策）

令和2年度は、新型コロナ対策として、開催を見送り。

○事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は、作成していない。

2020年度協会活動記録

4月6日(月)～8日(水)	(中止)第52次新入社員教育講座	(大広)
4月10日(金)	広告6団体事務局長連絡会	(JMA)
4月10日(金)	2019年度決算監査	(OAAA)
4月20日(月)	第78回理事会	(みなし理事会)
4月20日(月)	(中止)第1回事業委員会	(日本経済社)
4月28日(火)	(中止)全国広告業団体連絡会議 令和2年度「後期情報連絡会」	(銀座電通別館)
5月26日(火)	第22回定時総会	(リーガロイヤルNCB)
6月8日(月)	役員変更登記	(大阪法務局)
6月18日(木)	広告6団体事務局長連絡会	(JMA)
6月20日(土)	第3回 OSAKA 未来プレゼン大賞・応募サイト公開	
6月30日(火)	協会報第136号発行	
7月2日(木)	案内広告コピーコンテスト新聞5社懇話会	(朝日新聞社)
7月20日(月)	役員変更再登記	(大阪法務局)
7月28日(火)	案内広告コピーコンテスト新聞5社懇話会	(朝日新聞社)
8月6日(木)	第80回理事会	(みなし理事会)
8月25日(火)	広告6団体事務局長連絡会	(JMA)
9月4日(金)	第50回新聞求人案内広告コピーコンテスト応募締切	
9月11日(金)	新聞求人案内広告運営委員会	(新通)
9月15日(火)	第1回倫理・法規委員会	(読宣)
9月24日(木)	第50回新聞求人案内広告コピーコンテスト審査会	(朝日新聞社)
10月5日(月)	第23回新聞求人案内広告コピーフェア応募締切	
10月9日(金)	第23回新聞求人案内広告コピーフェアスポーツ新聞部会	(OAAA)
10月9日(金)	(中止)全国広告業団体連絡会議総会	(銀座電通別館)
10月13日(火)	字幕CM協議会主催 第6回字幕付きCMセミナー会	(YouTube Live)
10月14日(水)～15日(木)	アドバタイジング・ウィーク2020アジア協賛 (主催:アドバタイジング・ウィーク)	
10月21日(水)	第23回スポーツ新聞求人案内広告コピーフェア審査会	(大広)
10月23日(金)	広告6団体事務局長連絡会	(JMA)
10月28日(水)	第50回新聞求人案内広告コピーコンテスト表彰式	(朝日新聞社)
10月31日(土)	第3回 OSAKA 未来プレゼン大賞・応募締切	
11月5日(木)	JAAA主催 ラジオCMオンライン運用説明会	(Zoom Webinar)
11月11日(水)	第23回スポーツ新聞求人案内広告コピーフェア表彰式	(阪大中之島)
11月17日(火)	交通・屋外広告準備委員会	(Zoom)

第1号議案

12月3日(木)	第10回人権セミナー[講師:北口末広氏(近畿大学・主任教授)]	(Zoom Webinar)
12月22日(火)	広告6団体事務局長連絡会	(JMA)
12月23日(水)	広告8団体協力 広告関連法務研修会ウェビナー	(主催:日本広告審査機構)
1月10日(日)	協会報第137号発行	
1月20日(水)	第1回事業委員会	(Zoom)
1月27日(水)	案内広告委員会	(Zoom)
2月1日(月)	第3回 OSAKA 未来プレゼン大賞審査会	(Zoom)
2月5日(金)	第1回マーケティング委員会	(Zoom)
2月9日(火)	第3回 HaHaHa OSAKA CREATIVITY AWARDS 協賛	(主催:大阪広告協会)
2月16日(月)	広告6団体事務局長連絡会	(Zoom)
2月24日(水)	新入社員教育講座・講師連絡会	(Zoom)
3月16日(月)	第81回理事会	(大広)
3月22日(月)	第2回マーケティング委員会	(Zoom)

2020年度 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年(2020)度	前年(2019)度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	13,347,000	13,905,000	△ 558,000	
正会員受取会費	10,791,000	11,349,000	△ 558,000	会員数減
賛助会員受取会費	2,556,000	2,556,000	0	
②雑収益	360	611,521	△ 611,161	
受取利息	360	473	△ 113	
雑収益	0	611,048	△ 611,048	助成金なし
③事業収益	631,086	1,881,430	△ 1,250,344	
夏期広告セミナー	0	91,500	△ 91,500	開催見送り
クリエイティブ研究会	0	247,500	△ 247,500	開催見送り
交通・屋外広告セミナー	0	60,000	△ 60,000	開催見送り
新入社員教育講座	0	870,300	△ 870,300	開催中止
求人案内広告コピーコンテスト	100,000	100,000	0	
スポーツ新聞求人広告コピーフェア	100,000	100,000	0	
広告料金表他販売	191,086	52,130	138,956	新入社員テキスト増
広告掲載収益	240,000	360,000	△ 120,000	協賛広告減
経常収益(①+②+③)計	13,978,446	16,397,951	△ 2,419,505	
(2) 経常費用				
①事業費	7,477,770	8,888,738	△ 1,410,968	
夏期広告セミナー	0	102,488	△ 102,488	開催見送り
クリエイティブ研究会	0	76,796	△ 76,796	開催見送り
交通・屋外広告セミナー	0	98,945	△ 98,945	開催見送り
広告図書寄贈事業	12,540	7,600	4,940	
OSAKA未来プレゼン大賞	1,460,352	1,481,973	△ 21,621	
ACC CMフェスティバル	50,880	100,880	△ 50,000	ACC上映会見送り
協会報編集発行	646,136	945,341	△ 299,205	頁数減のため
新入社員教育講座	30,580	659,658	△ 629,078	開催見送り
求人案内広告コピーコンテスト	177,696	227,466	△ 49,770	受賞数減
スポーツ新聞求人広告コピーフェア	201,789	204,217	△ 2,428	
人権セミナー	82,085	62,860	19,225	
マーケティングゼミナール	0	92,118	△ 92,118	開催見送り
広告料金表他購入	206,369	64,102	142,267	新入社員テキスト増
会員名簿発行	111,266	125,684	△ 14,418	
関係団体費	129,510	168,802	△ 39,292	開催減
給与手当	2,963,922	2,967,574	△ 3,652	
退職給付費用	63,240	63,240	0	
福利厚生費	396,669	416,920	△ 20,251	
旅費交通費	6,208	94,886	△ 88,678	移動機会減少(a)
借室料管理費	654,112	671,821	△ 17,709	
消耗費	12,060	6,760	5,300	
印刷費	64,477	45,422	19,055	郵送書類増加(b)
通信運搬費	135,325	138,360	△ 3,035	
什器備品	72,554	64,825	7,729	
②管理費	4,337,792	5,169,944	△ 832,152	
給与手当	2,660,218	2,663,496	△ 3,278	
退職給付費用	56,760	56,760	0	
福利厚生費	356,024	374,199	△ 18,175	
総会費	273,538	946,863	△ 673,325	懇親会見送り
理事会費	17,677	77,501	△ 59,824	みなし理事会実施
分科委員会費	855	6,629	△ 5,774	リアル開催数減
旅費交通費	5,572	85,164	△ 79,592	移動機会減少(a)

	科目	当年(2020)度	前年(2019)度	増減	備考
56	借室料管理費	587,087	602,981	△ 15,894	
57	消耗費	10,824	6,068	4,756	
58	印刷費	57,871	40,767	17,104	郵送書類増加(b)
59	通信運搬費	121,458	124,182	△ 2,724	
60	什器備品	65,119	58,182	6,937	
61	租税公課	90,600	80,600	10,000	追加登記
63	雑費	34,189	46,552	△ 12,363	
64	経常費用計	11,815,562	14,058,682	△ 2,243,120	
65	当期経常増減額	2,162,884	2,339,269	△ 176,385	
66	2. 経常外増減の部				
67	(1) 経常外収益	0	0	0	
68	経常外収益計			0	
69	(2) 経常外費用	0	0		
70	経常外費用計	0	0	0	
71	当期経常外増減額	0	0	0	
72	当期一般正味財産増減額	2,162,884	2,339,269	△ 176,385	
73	一般正味財産期首残高	21,389,131	19,049,862	2,339,269	
74	一般正味財産期末残高	23,552,015	21,389,131	2,162,884	
75	II 指定正味財産増減の部				
76	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
77	指定正味財産期首残高	0	0	0	
78	指定正味財産期末残高	0	0	0	
79	III 正味財産期末残高	23,552,015	21,389,131	2,162,884	

※ 2020年度の 事業費:管理費 割合は、52.7:47.3
 ※ 2019年度の 事業費:管理費 割合は、52.7:47.3

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	41,637	143,890	△ 102,253
普通預金	17,947,171	15,682,034	2,265,137
未収金			0
流動資産合計	17,988,808	15,825,924	2,162,884
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	300,000	180,000	120,000
事業積立預金	0	0	0
特定資産合計	300,000	180,000	120,000
(2) その他固定資産			
定期預金	4,051,957	4,051,957	0
差入入居保証金	1,511,250	1,511,250	0
その他固定資産合計	5,563,207	5,563,207	0
固定資産合計	5,863,207	5,743,207	120,000
資産合計	23,852,015	21,569,131	2,282,884
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当金	300,000	180,000	120,000
固定負債合計	300,000	180,000	120,000
負債合計	300,000	180,000	120,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	23,552,015	21,389,131	2,162,884
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	23,552,015	21,389,131	2,162,884
負債及び正味財産合計	23,852,015	21,569,131	2,282,884

※ 実施事業資産について (財務諸表に対する注記にも記載)

実施事業資産はない。

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
1.	流動資産		
	現金預金		
	現金手元有高	41,637	
	普通預金		
	三井住友銀行 備後町支店(1436608)	17,947,171	
	流動資産合計		17,988,808
2.	固定資産		
(1)	特定資産		
	退職給付引当預金	300,000	
	三井住友銀行 備後町支店 (1436593)		
	事業積立預金	0	
	三井住友銀行 備後町支店(1746742)		
	特定資産合計	300,000	
(2)	その他固定資産		
	定期預金	4,051,957	
	三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部		
	差入入居保証金	1,511,250	
	日印通商株式会社		
	その他固定資産合計	0	5,563,207
	固定資産合計		5,863,207
	資産合計		23,852,015
II 負債の部			
1.	流動負債		
	未払金	0	
	預り金	0	
	流動負債合計		0
2.	固定負債		
	退職給付引当金	300,000	
	固定負債合計		300,000
	負債合計		300,000
	正味財産		23,552,015

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)退職給付引当金 職員の退職に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額(簡便法)に基づき計上している。
- (2)消費税等の会計処理 税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	180,000	120,000	0	300,000
事業積立預金	0	0	0	0

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
特定資産			
退職給付引当預金	300,000	0	300,000
事業積立預金	0	0	0

4. 実施事業資産について

実施事業資産はない。

監 査 報 告 書

私たち監事は、一般社団法人大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会の2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしましたので、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を、すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2021年4月14日

監 事 松田 耕治 ⑩

監 事 今中 一郎 ⑩

2021年度事業計画（案）

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

I 広告・コミュニケーションに関する一般教養の向上に資する事業

第3回となる顕彰事業としての「OSAKA未来プレゼン大賞」の贈賞を実施。2021年度も引き続き次回第4回の応募を実施。OSAKA未来プレゼン大賞実行委員会が推進母体となって、運営・審査・選定の一連の任に当たる。翌年度の総会時に表彰式を開催する予定で進める。

II 広告・コミュニケーションに関する次世代の育成に資する事業

- (1) 新入社員教育講座 (4月)

III 広告・コミュニケーションに関する情報・資料の収集及び情報の提供・公開に関する事業

- (1) 広告図書寄贈事業 (4～3月) ※ 大阪中央図書館・大阪府立図書館
(2) 広報活動・情報提供活動 (随時)

IV 広告倫理の向上に必要な事業

- (1) 広告関連法務研修会 ※ 日本広告業協会、日本広告審査機構、大阪広告協会、日本アドバタイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本広告制作協会と共催
(2) 人権セミナー (11月頃)

V 広告技術の改善・向上に資する事業

- (1) 夏期広告セミナー (7～8月頃)
(2) 求人案内広告コピーコンテスト (10月頃)
(3) スポーツ新聞求人案内広告コピーフェア (11月頃)
(4) クリエイティブ研究会 (10月もしくは11月)
(5) ACC Tokyo Creativity Awards 上映会 (12月) ※大阪広告協会主催事業に協賛
(6) H a H a H a Osaka Creativity Awards 審査会(1月) ※大阪広告協会主催事業に協賛
(7) 交通・屋外広告セミナー (2～3月頃)

VI 関係機関・内外諸団体との連絡、連携、協調

- (1) 広告関係団体との連携・協働・研究
(2) 日本広告業協会が発行する広告関連図書の会員社への販売

VII その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 協会報発行 (8月、1月)
(2) マスコミ年賀交歓会 (1月)

第2号議案

2021年度 収支予算案(損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	2021年度予算	2020年度予算	増減(当年-前年)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	12,942,000	13,518,000	△ 576,000	
正会員受取会費	10,386,000	10,962,000	△ 576,000	62社143名で計算
賛助会員受取会費	2,556,000	2,556,000	0	17社23名
② 雑収益	250	250	0	
受取利息	250	250	0	
雑収益	0	0	0	
③ 事業収益	1,634,763	1,140,000	494,763	
夏期広告セミナー	0	150,000	△ 150,000	無料ウェビナーになった場合
クリエイティブ研究会	200,000	200,000	0	再開を想定
交通・屋外広告セミナー	135,000	135,000	0	再開を想定
新入社員教育講座	605,000	0	605,000	再開
求人案内広告コピーコンテスト	189,763	150,000	39,763	懇話会の繰越金総額
スポーツ新聞求人広告コピーフェア	100,000	100,000	0	
広告料金表他販売	70,000	70,000	0	
広告掲載収益	335,000	335,000	0	
経常収益計	14,577,013	14,658,250	△ 81,237	会員社減
(2) 経常費用				
① 事業費	10,105,064	9,625,064	480,000	
夏期広告セミナー	320,000	240,000	80,000	会場費増
クリエイティブ研究会	320,000	240,000	80,000	会場費増
交通・屋外広告セミナー	320,000	240,000	80,000	会場費増
広告図書寄贈事業	20,000	20,000	0	
OSAKA未来プレゼン大賞	1,700,000	1,700,000	0	
ACC CMフェスティバル	100,000	100,000	0	
協会報編集発行	1,000,000	1,000,000	0	
新入社員教育講座	480,000	30,000	450,000	再開
求人案内広告コピーコンテスト	280,000	280,000	0	
スポーツ新聞求人広告コピーフェア	250,000	180,000	70,000	会場費増
人権セミナー	150,000	190,000	△ 40,000	
マーケティングセミナー	0	240,000	△ 240,000	
広告料金表他購入	75,000	75,000	0	
会員名簿発行	150,000	150,000	0	
関係団体費	160,000	160,000	0	
給与手当	2,977,724	2,977,724	0	
退職給付費用	63,240	63,240	0	
福利厚生費	474,300	474,300	0	
旅費交通費	115,940	115,940	0	事務員一人増
借室料管理費	685,100	685,100	0	
消耗費	15,810	15,810	0	
印刷費	105,400	105,400	0	
通信運搬費	184,450	184,450	0	
什器備品	158,100	158,100	0	
② 管理費	5,070,267	5,085,267	△ 15,000	
給与手当	2,672,607	2,672,607	0	
退職給付費用	56,760	56,760	0	
福利厚生費	425,700	425,700	0	
総会費	400,000	400,000	0	懇親会キャンセルを想定
理事会費	135,000	180,000	△ 45,000	節減
分科委員会費	25,000	30,000	△ 5,000	節減
旅費交通費	104,060	104,060	0	事務員一人増
借室料管理費	614,900	614,900	0	
消耗費	14,190	14,190	0	
印刷費	94,600	94,600	0	
通信運搬費	165,550	165,550	0	
什器備品	141,900	141,900	0	
租税公課	120,000	85,000	35,000	追加登記費用
雑費	100,000	100,000	0	
経常費用計	15,175,331	14,710,331	465,000	

	科目	2021年度予算	2020年度予算	増減(当年-前年)	備考
64	当期経常収支額	△ 598,318	△ 52,081	△ 546,237	会員数減+会場費増
65	2. 経常外増減の部				
66	(1) 経常外収益				
67	経常外収益計	0	0	0	
68	(2) 経常外費用				
69	経常外費用計	0	0	0	
70	当期経常外増減額	0	0	0	
71	当期一般正味財産増減額	△ 598,318	△ 52,081	△ 546,237	
72	一般正味財産期首残高	23,552,015	21,389,131	2,162,884	
73	一般正味財産期末残高	22,953,697	21,337,050	1,616,647	
74	Ⅱ 指定正味財産増減の部				
75	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
76	指定正味財産期首残高	0	0	0	
77	指定正味財産期末残高	0	0	0	
78	Ⅲ 正味財産期末残高	22,953,697	21,337,050	1,616,647	

※管理費と事業費の配賦割合は2021年度、2020年度ともに(管理費=0.473 事業費=0.527)の従事割合で計算しています。

※2021年度・2020年度の一般正味財産期首残高のみが、確定数値です。
その他の数値は、計画時段階の予算数値です。

2021年度活動方針スローガン（案）

大阪から、広告をはみだそう。

2021年5月26日

一般社団法人 大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会

（ ※ 2年使用決議を経ているので、昨年からの継続スローガン）

2021年度補欠役員改選の件

2020年5月26日に開催された第22回定時総会において2020・2021年度の理事として選任された「岩井秀一」氏「山本章義」氏「斉藤正人」氏「竹内寛」氏「吉松一郎」氏「佐藤文彦」氏から、また同じく2020・2021年度の監事「今中一郎」氏から、任期途中での辞任の旨、お申し出を受けております。その補欠理事・補欠監事の候補として以下の方々を推薦致しますのでご承認いただきますようお願い致します。

<参考> (役員の任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

<補欠理事・監事候補案 (敬称略) >

理事「岩井秀一」後任

理事候補 落合 寛司 (おちあい ひろし)
(株式会社大広 代表取締役社長)

理事「白井博志」後任

理事候補 藤川 博章 (ふじかわ ひろあき)
(株式会社博報堂 執行役員関西支社長)

理事「山本章義」後任

理事候補 野中 雅志 (のなか まさし)
(株式会社JR西日本コミュニケーションズ 代表取締役社長)

第4号議案

理事「斉藤正人」後任

理事候補 北村 栄治（きたむら えいじ）
（株式会社電通パブリックリレーションズ執行役員関西支社長）

理事「竹内寛」後任

理事候補 隅田 壮一（すみた そういち）
（讀賣テレビ放送株式会社 取締役営業局長）

理事「吉松一郎」後任

理事候補 中村 正直（なかむら まさなお）
（株式会社デイリースポーツ ビジネス局 局長）

理事「佐藤文彦」後任

理事候補 牧埜 敦司（まきの あつし）
（大毎広告株式会社 取締役）

監事「今中一郎」後任

監事候補 名倉 基二（なぐら もとじ）
（株式会社朝日広告社 関西営業局局長）

第5号議案

名誉会員（顧問）推薦の件

岩井 秀一氏

2013年理事長就任、8年の永きに亘って協会の運営に貢献。

<主な業績>理事長として協会運営に尽力されるとともに、任期内に協会50周年記念事業、財務健全化、日本広告業協会との交流深化に功績があった。業界での活動を通じて、昨年には第55回吉田秀雄記念賞を受賞している。

※ご参考（定款第5条）

「この法人に次の会員を置く。（中略）（2）名誉会員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で総会において推薦された者」

